

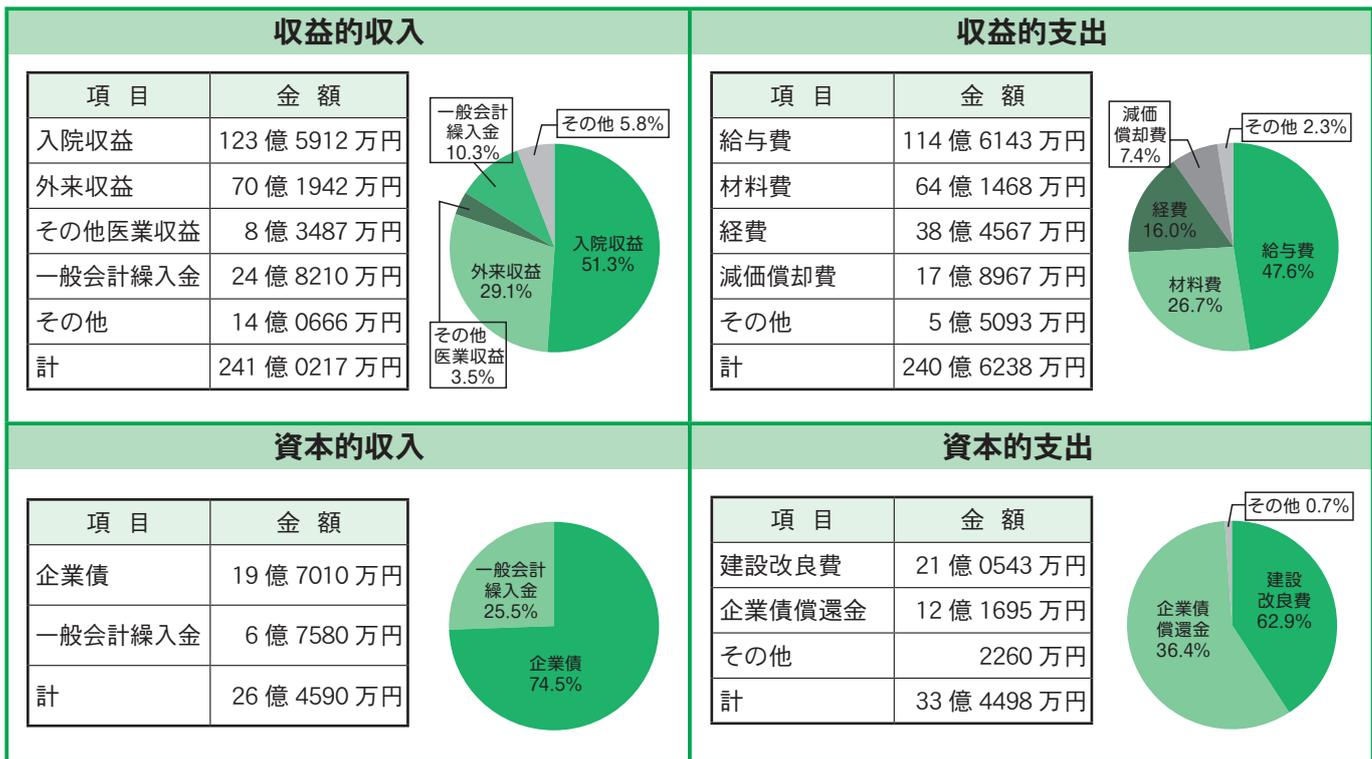
予算概要

令和2年度は、これまで実施してきました「新大崎市民病院改革プラン」と、「大崎市民病院事業病院ビジョン」の計画最終年度となります。急激な人口減少や少子高齢化等の医療を取り巻く環境が厳しいものとなる中で、持続可能な病院運営を行うため、病床再編や医療機能の見直し等に取り組んできましたが、計画の集大成として最終年度を戦略的に事業展開するとともに、病院事業運営を推進する予算を編成いたしました。

収益的収支予算は、病院事業収益総額を241億217万円、病院事業費用総額を240億6,238万円とし、3,979万円の黒字予算となりました。主な事業としては、住み慣れた地域での暮らしを支える体制づくりとして、患者さんが円滑に在宅復帰できるよう、鹿島台分院、岩出山分院での地域包括ケア病床の運用に加え、鳴子温泉分院にも地域包括ケア病床を設置し、田尻診療所ではかかりつけ医機能の拡充、本院では認知症センターを新設し、認知症医療をどの地域でも等しく受けられるようにするとともに、健康管理センターでは引き続き健診事業に取り組めます。

資本的収支予算は、収入総額を26億4,590万円、支出総額を33億4,498万円といたしました。令和3年6月開院予定の鳴子温泉分院の建設や医療機器整備、本院の医療機器等を整備いたします。

令和2年度診療報酬改定による厳しい財政状況が予測されますが、本院と分院、診療所の各施設がそれぞれの役割を十二分に果たし、病院理念であります「市民が安心できる医療の提供」を念頭に、引き続き健全経営と地域医療の充実に努めてまいります。



用語解説

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業など、1年間の経営活動によって生じた収益である「収益的収入」と、これらの収益を生むために要した費用である「収益的支出」の差引額のことをいいます。1年間の病院の経営成績を表し、収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」となります。

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する費用である建設改良費や、医療機器購入などのために借り入れた企業債の元金返済に要する支出である「資本的支出」から、資本的支出の財源となる企業債や一般会計からの補助金である「資本的収入」を差し引いた額をいいます。

資本的収支不足額は、収益的収支における現金の支出を伴わない費用（減価償却費や資産消費費など）で企業内部留保されている資金（損益勘定留保資金）などで補てんしています。